

性能表

	項目	性能	備考
配合	シェイブメント主剤	1缶(17kg)	携帯用攪拌機で均一に混合攪拌する
	シェイブメント硬化剤	2袋(36kg)	
施工	施工可能塗布量(厚み)	1回 3kg/㎡まで(1.57mm)	塗り重ねは19kg/㎡(10mm)までとする
	施工器具	金ゴテ、ハケ	
配合後	粘度	17,000mPa.s	BM型粘度計
	混合比重	1.60	
	混合固形分	83.9%	
	可使用時間	約1時間	23°C
	歩行可能時間(2kg/㎡)	6~9時間	//
塗膜性能	塗膜引張強さ	1.3(N/mm ²)	JISA6021
	塗膜伸び	56%	//
	塗膜透水性	0.1g	JISA1404(水圧294kPa)
下地との 接着強さ	モルタル	0.59(N/mm ²)・材料破壊	単軸引張試験
	コンクリート	0.66(N/mm ²)・材料破壊	
	ブロンアスファルト	0.30(N/mm ²)・材料破壊	
	アスファルト砂付ルーフィング	0.28(N/mm ²)・材料破壊	
上塗り材との 接着強さ	モルタル	材料破壊	単軸引張試験
	ブロンアスファルト	材料破壊	
	アクリルゴム(ポリマーセメント)	上塗り材破壊	
	ゴムアス塗膜	材料破壊	
	アスファルト砂付ルーフィング(トーチシート)	材料破壊	

※上記性状及び特性は代表値で記載値を保証するものではありません。

●注意事項

※施工の前にカタログ・SDS・施工要領書を必ずご一読ください。

※攪拌機は、1300rpm以上の高速攪拌機で羽根の形状がリシン羽根のものを使用し、主剤1缶(17kg)を事前に30秒ほど攪拌してから、硬化剤2袋(18kg×2袋=36kg)を1袋ずつ徐々に添加しながら混合攪拌を行ってください。主剤を事前に充分攪拌しないと極端に可使用時間が短くなったり、硬化不良を起こす可能性があります。

※小分けにする際は、必ず秤を用いてください。(例:主剤半缶(8.5kg)・硬化剤1袋(18kg)を小分けの限度とする)

※小分けする前に事前に主剤のみを攪拌してください。また既定の配合比にて混合してください。

※既設防水層にシルバー塗料が残っている下地は、反応(水素ガス発生)により発泡する恐れがあるため、直接の使用は避けてください。事前にシェイブメント主剤のみを0.2kg/㎡塗布し、乾燥後に主剤・硬化剤を混合したものを塗布してください。

※コンクリート下地で吸水が激しい場合には、シェイブメント主剤の2~3倍希釈液をプライマーとして塗布してください。

※標準配合(1缶/2袋)にて2kg/㎡(1.04mm)を使用してください。必要に応じて亀裂部等には補強塗りをしてください。

※厚塗り施工の場合は、1回3kg/㎡(1.57mm)までとし、複数回に分けて厚みの確保を行ってください。

※保管は、5~40°Cで直接日光が当たらない室内に保管してください。施工は5°C以上で行い、施工完了後、硬化・乾燥までに降雨雪及び凍結にあわないようにしてください。

※主剤はロットにより色調が異なる場合がございますが、品質には影響なく、硬化後の色調にも違いはありません。

JSRグループ
E-TEC 株式会社 **イーテック**

www.etec.jsr.co.jp

本パンフレットに記載されている情報およびデータは信頼し得る試験法に基づいて測定したものです。実際に使用する前に十分な試験を行い、ご満足できる効果をご確認ください。なお、ご紹介の用途は、いかなる特許に対しても抵触しないことを保証するものではありません。材料・仕様は予告なく変更する場合がございます。

本社・四日市工場 (工場、研究所)

〒510-0875 三重県四日市市大治田1-6-16

営業統括部

〒105-0021 東京都港区東新橋1-9-2 汐留住友ビル

お問い合わせ TEL.03-6218-3842

西日本防水材料部

〒541-0046 大阪府大阪市中央区平野町2-5-8 平野町センチュリービル2F

お問い合わせ TEL.050-6868-4885

防水

Vol.1

シェイブメント

S H E I P M E N T

常温改質アスファルト系下地調整材

環境品質



JSRグループ
株式会社 **イーテック**

シェイプメント

S H E I P M E N T

環境品質のイーテックがお届けする Ground Adjusting Material “シェイプメント”

長年培われた改質アスファルトエマルジョンの技術と、それを硬化させる硬化技術の融合。エマルジョンタイプの主剤に、無機水硬性粉体を混合させて使用する環境にやさしい材料です。更に、既設防水層や既設防水層撤去部への接着性に優れ、不陸調整などの機能にも優れます。

特徴

1

任意の厚みに施工可能

主に下地処理用のうす塗りから、不陸調整等の厚塗りまで任意の厚みに施工可能です。

※1回3kg/m²までとし、重ね塗りする事で、厚みを確保することが出来ます。

2

簡単で安全な施工

主剤・硬化剤がセットになっており、調合が簡単です。又溶剤、火気を一切使わない施工のため安全です。

3

良好な接着性

各種既設防水層及びその撤去下地に対する接着性が良好です。

用途

既設防水層の直接処理

- 既設防水層の表面処理
- 既設防水層の水勾配調整

既設防水層撤去部の処理

- 部分撤去部の不陸調整
- 全面撤去部の下地調整

適用新設防水工法

下記の新設防水工法等の下地調整材として使用できます。

- アスファルト常温工法
- ポリマーセメント系塗膜工法
- トーチ工法

※溶剤を含む防水工法の場合は注意が必要です。詳しくはお問い合わせ願います。

材料の性状

項目	シェイプメント主剤	シェイプメント硬化剤
主成分	改質アスファルトエマルジョン	無機水硬性粉体
粘度	1600mpa.s以下	—
固形分	50%	—
外観	暗緑色液体	黒色粉体
荷姿	 17kg/缶	 18kg/袋
配合比率	17kg/缶+(18kg/袋×2袋)=53kg	

厚みの計算

● 塗布量(kg/m²) ÷ 混合比重 × 混合固形分 = 厚み
 (例) 2kg ÷ 1.6 × 83.9% = 1.04mm

シェイプメント

S H E I P M E N T

使用方法

	工程1	工程2	工程3
使用材料	シェイプメント主剤のみ	シェイプメント主剤・硬化剤混合品	仕上げ防水材料
使用量(kg/m ²)	シルバー有下地 0.2 シルバー無下地 -	2.0 2.0	改質アスファルト常温工法 トーチ工法 ポリマーセメント工法
歩行可能時間(23°C:目安)	1時間	6~9時間	
配合上の注意	主剤1缶(17kg)・硬化剤2袋(36kg)を混合する際には、まず主剤のみを攪拌後、主剤に硬化剤1袋を攪拌しながら添加し、1分混合する。その後残りの1袋を攪拌しながら添加し、添加後1分間しっかりと攪拌混合を行ってください。		

施工

①下地処理前の確認事項

- 施工部位の脆弱部、油脂などの接着を阻害する恐れのあるものは、ブラシやサンダーなどで取り除き脱脂を行ってください。
- 施工面は十分に清掃し、埃を取り除きます。
- 施工面は乾燥下地が原則です。一時的な降雨で濡れてしまった場合は、浮き水、たまり水を拭き取り、雨色がなくなった事を確認の上、施工を再開してください。

②下地処理(シルバー下地の場合)

- シェイプメント主剤(荷姿17kg/缶)を高速攪拌機にて30秒ほど攪拌し、プライマーとして標準塗布量0.2kg/m²塗布してください。
※シルバー塗装が残っている面に、直接主剤・硬化剤を混合した物を塗布すると、アルミ成分とセメント成分が反応して、発泡する恐れがあります。

③下地調整材塗布

- シェイプメント主剤を高速攪拌機にて事前に30秒ほど攪拌します。
- シェイプメント主剤17kgに対し、硬化剤36kg(18kg×2袋)の配合で混練した材料を、標準塗布量2.0kg/m²塗布してください。小分けして混合する場合は主剤8.5kg(半缶)硬化剤18kg(1袋)を限度としてください。
- 主剤と硬化剤を既定の配合にて混合し、1分程度攪拌混合してから塗布してください。(材料の混合は、主剤に少しずつ硬化剤を添加しながら攪拌します)
※硬化剤を一気に添加した後に攪拌すると、均一に混ざりません。
- 防水層を撤去する場合は、1~2日程度の雨養生にはご使用いただけますが、それ以上の雨養生は漏水対策を実施してください。(雨養生の場合は2kg/m²以上は塗布してください)
- 粘度が高く、塗布施工が出来ない場合に水を添加することは可能です。
※シェイプメント主剤(17kg/缶)に事前に水0.5kgを添加し、30秒ほど攪拌します。主剤と硬化剤との混合攪拌時の添加は厳禁です。

施工方法



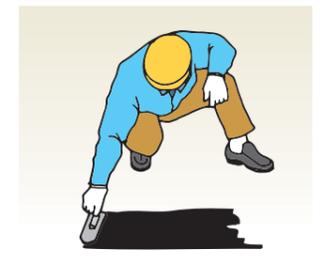
1300rpm以上の高速攪拌機を準備。
φ150のリシン羽根を推奨



主剤のみ事前に30秒ほど攪拌。
(主剤・硬化剤の混合時には60ℓ程度
のポリバケツを推奨)



主剤に硬化剤を攪拌しながら徐々に
添加し、全て添加し終わってから1分
程度攪拌混合してください。
※2袋目も同様に実施してください



金ゴテ・ハケ等を用いて均一に塗布し、
十分に乾燥させてください。